



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2023年3月7日

令和4（2022）年度第9回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2023年3月9日（木）10:00～11:00

場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室

YouTube：<https://youtube.com/live/z6s4IHNRAsw>

<記者会見項目>

- ① 夜の方が目が良くなる
～簡単・スピーディーな視力検査装置で分かった コントラスト感度の日内変動～
【エレクトロニクス先端融合研究所 准教授 鯉田 孝和】（別紙1）
- ② 国立大学法人豊橋技術科学大学 キャンパスマスタープラン 2022 を策定
【理事・副学長 若原 昭浩】（別紙2）
- ③ ギカダイキャンパスツアー2022 を開催します
【広報部会／機械工学系 准教授 横山 博史】（別紙3）
- ④ 天伯小学校で〈弱いロボット〉の岡田教授が講演！
～〈弱いロボット〉だからできること～
【情報・知能工学系 岡田美智男 研究室（ICD-LAB）】（別紙4）
- ⑤ 東海地域の6次産業化推進人材育成 受講生募集のお知らせ
【先端農業・バイオリサーチセンター】（別紙5）

<本件連絡先>

総務課企画・広報係 高柳・岡崎・高橋

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



2023年3月7日

夜の方が目が良くなる

～簡単・スピーディーな視力検査装置で分かった コントラスト感度の日内変動～

<概要>

豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所 鯉田孝和准教授と東京工業高等専門学校の研究チームは、人間の視力（コントラスト感度）が時刻とともに改善していくことを明らかにしました。一般に日常作業の効率は朝に良く、時間の経過とともに悪くなります。これは疲労が原因です。一方で、眼の網膜には体内時計による効果で夜になるにつれて感度が良くなる細胞が存在することが知られていました。しかし、これまで人の視覚性能が時刻によって改善する効果を明瞭に示した研究はありませんでした。おそらく過去の研究では、計測に時間がかかるなどの問題により、実験を繰り返すことで疲労の効果が高まっていたためと考えられます。そこで本研究では、タッチパネルを用いた簡便なコントラスト感度測定プログラムを開発することで、これまで数十分かかっていた計測の時間を3分に短縮することに成功し、さらにこのシステムを応用することで、コントラスト感度が時刻とともに改善していくことを明らかにしました。これは視覚系には、疲労に打ち勝って性能を維持する機能があることを示しています。本研究は、視力を維持するために必要なリハビリ法の開発や、網膜の機能を維持するための創薬開発につながることを期待されます。本研究は、学術誌「生体医工学」に論文発表されました。

<詳細>

人体には体内時計が備わっており、あらゆる細胞が時刻によって活動状態を変えることが知られています。眼の網膜も例外ではありません。例えば魚類の網膜には、夜になるにつれて光への感度が良くなる細胞があります（引用1）。また人間の網膜の活動状態を示す網膜電位測定においても、時刻によって変化があり（引用2）、瞳孔径は視環境の明るさを一定に保っていても夜に大きくなる（引用3）など、様々な生物学的な証拠が視覚機能の時刻依存性を示唆していました。それにもかかわらず、実際に人間が物を見ているときに時刻によって見え方が変わるのかを示した研究は少なく、その結果は一貫していませんでした。

研究チームは、このような不一致は計測方法に問題があるためであると考えました。実験は朝、昼、晩と順に行われることが多いのですが、その場合時刻とともに疲労が蓄積して感度が悪くなったり、逆に実験に慣れて上達してしまい、見かけ上感度が良くなってしまふなどの可能性があります。特に問題になるのが、一回の実験ごとに20分以上かけて何回も計測を行う必要があった点です。そこで本研究では、コントラスト感度の計測を簡便、スピーディーに測定するプログラムを作ってこの問題を解決しました。

研究チームの作ったプログラムはタブレットパソコンを用いて、灰色の画面の中のどこかにじわじわと現れてくる縞模様を見つけたらタッチする、という簡単な課題を行うものです。これを様々な太さの縞模様に対して測定することで、コントラスト感度を測定することができます（図1）。

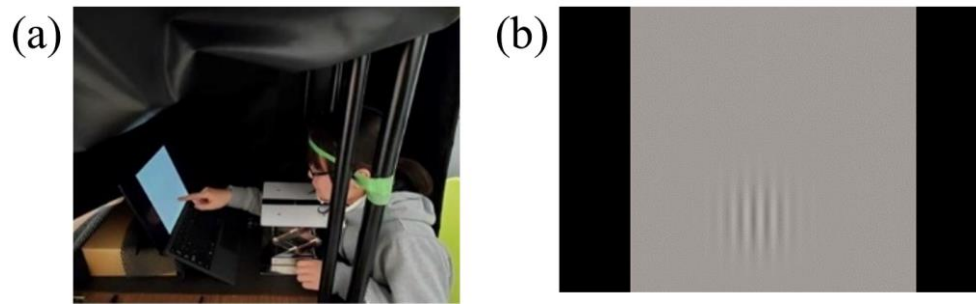


図1 (a) タッチパネルで感度を測る。(b) 画面に縞模様が出ている状況。

このプログラムを用いて、朝昼夕晩（8, 12, 16, 20 時）においてコントラスト感度を測定しました。その結果、時間とともに検出するのに必要なコントラストが小さくて良いこと、つまり感度が良くなっていくことが明らかになりました（図2）。効果は主に細かな縞模様（ > 6 cycle/degree）で顕著でした。この実験は朝から順番に測定したため、疲労や学習といった順序の効果がある恐れがありました。しかし、測定する順番をランダムにしても結果は一貫していました。

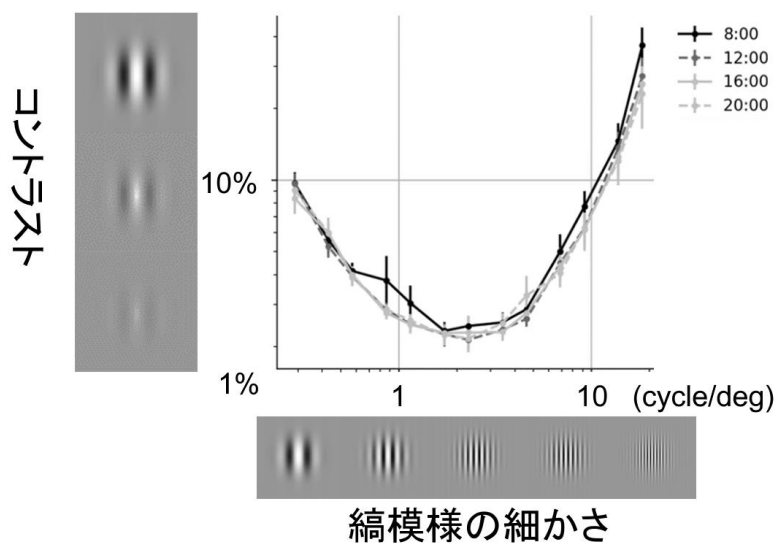


図2 各時刻でのコントラスト感度。夜の方がプロットが下、つまり感度が良いことを示す。

時刻とともに感度が下がるのであれば、それは疲労の効果であり、驚くことではありません。しかし本研究で明らかになった**感度が上がる**という効果には、何かしら眼や脳が感度を積極的に改善する仕組みが必要です。網膜細胞の情報処理や、瞳孔径や眼球形状といった眼光学的要因によって達成されていると予想されますが、それぞれのどれが重要だったのかを解明するには、さらなる研究が必要です。

<今後の展望>

本研究で明らかになった視力が良くなる仕組みは、逆にその機能が失われると夜に視力が著しく悪化することを意味します。本研究は、視力を保つために必要なリハビリ方法の開発や、創薬開発などにつながることを期待されます。

<用語>

コントラスト感度：文字や縞模様を見るときに、どれだけ薄くしても（コントラストを下げても）認識できるかを測った指標のこと。一般的な視力検査がどれだけ細かい物が見えるかを白黒で測定するのに対して、様々な太さや細さの縞模様を用いてそれぞれへの感度を測定する点に特徴がある。

<引用文献>

- 1 Li L: Circadian Vision in Zebrafish : From Molecule to Cell and from Neural Network to Behavior. J Biol Rhythms. 34(5), pp. 451-462, 2019.
- 2 Storch KF, Paz C, Signorovitch J, Raviola E, Pawlyk B, Li T, Weitz CJ: Intrinsic circadian clock of the mammalian retina : importance for retinal processing of visual information. Cell. 130(4), pp. 730-741, 2007.
- 3 Van Egroo M, Gaggioni G, Cespedes-Ortiz C, Ly JQM, Vandewalle G: Steady-State Pupil Size Varies with Circadian Phase and Sleep Homeostasis in Healthy Young Men. Clocks Sleep. 1(2), pp. 240-258, 2019.

<論文情報>

「概日リズムによる輝度コントラスト感度特性の変化」

吉川真由・永井翠・鯉田孝和

生体医工学 60(6):158-163, 2022 (2023 年 2 月発行)

DOI:10.11239/jsmbe.60.158



本件に関する連絡先

広報担当：総務課企画・広報係 高柳・岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

夜の方が目が良くなる

～簡単・スピーディーな視力検査装置で分かった
コントラスト感度の日内変動～

鯉田孝和（こいだこうわ）

豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所・准教授

koida@tut.jp

豊橋技術科学大学



背景 | 体内時計と視覚



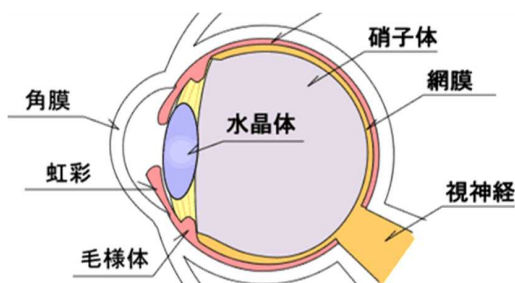
視覚が夜に良くなる生物学的証拠

- ・ 網膜細胞の感度が上昇
- ・ 瞳孔径(しぼり)が大きくなる
- ・ 眼球のゆがみが治る

実際に目は良くなるの？

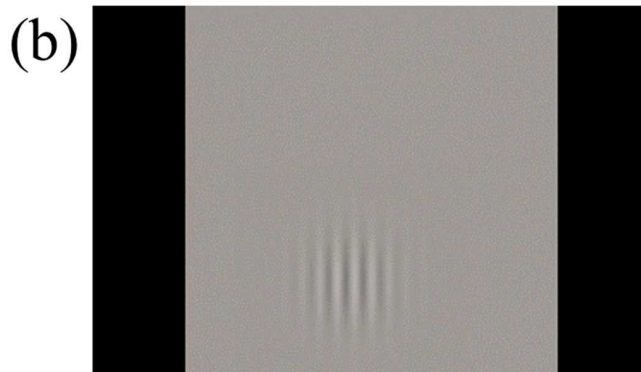
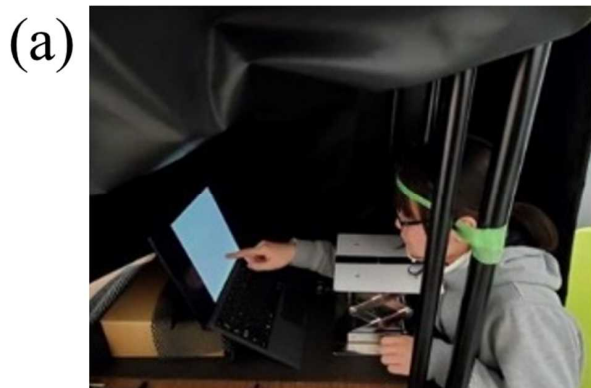
→視力検査ではあいまいだった。

なぜだろう？



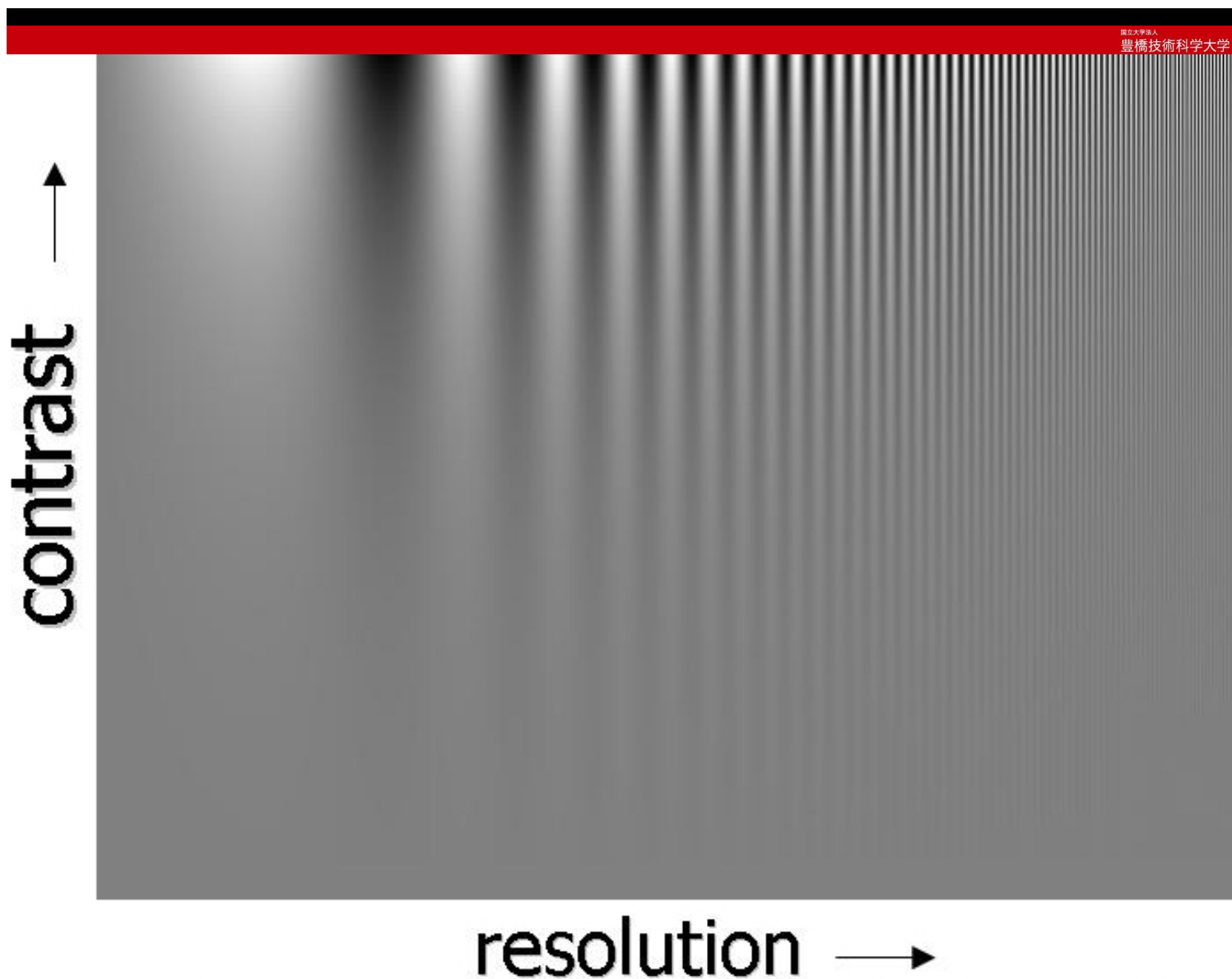
豊橋技術科学大学

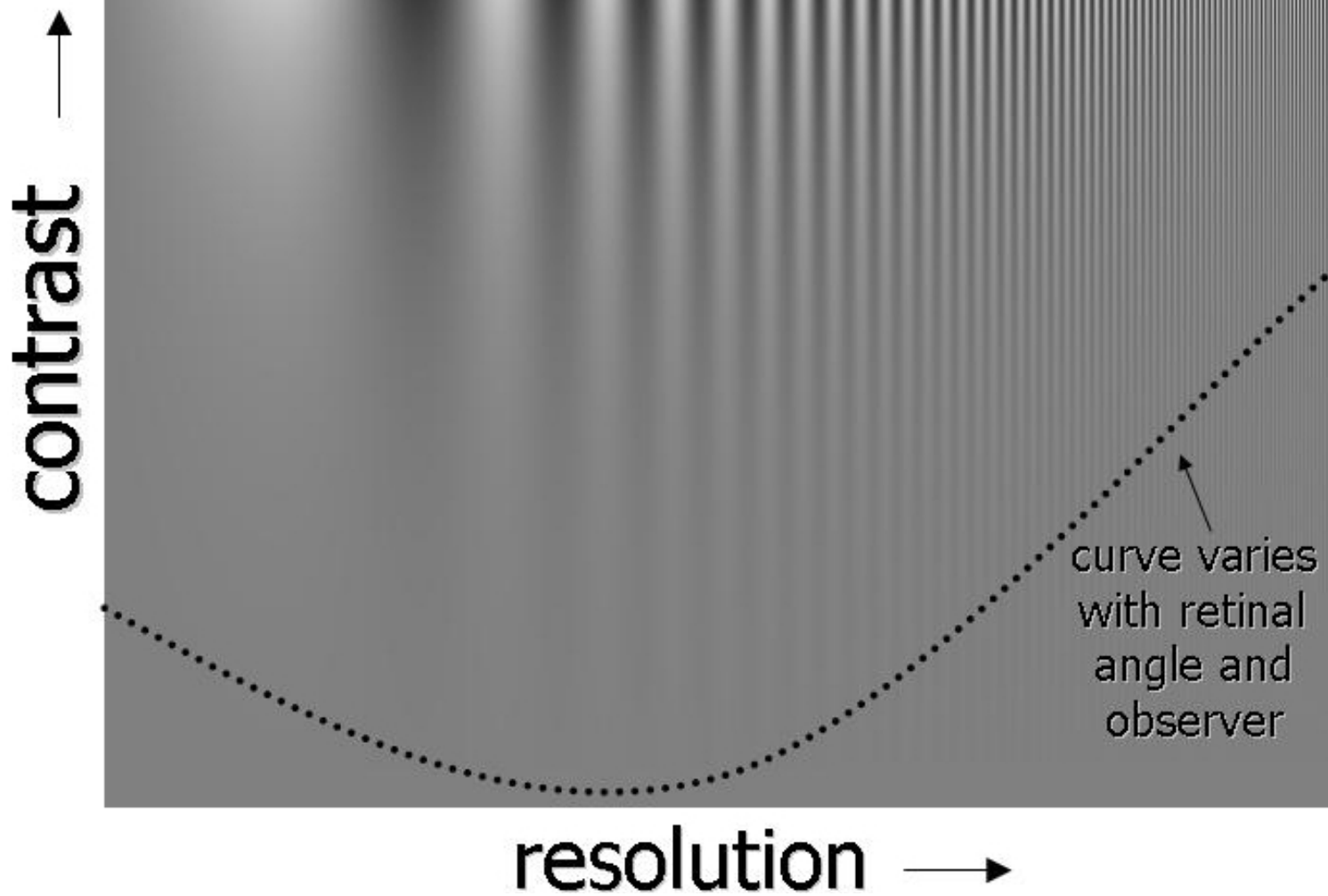
対策 | 正確かつ簡便な計測法



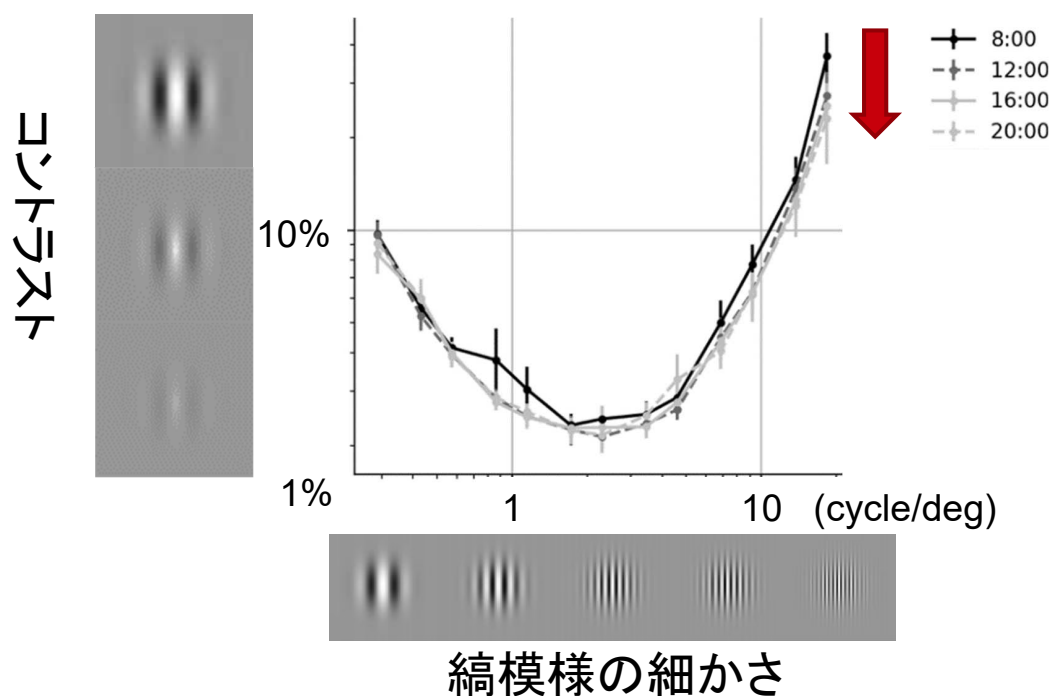
過去の研究では正確な測定に時間がかかった(20分)
そのため、疲労や学習の効果が結果に悪影響した

そこで、簡単スピーディに測定可能にするタブレット装置
を開発。計測時間を3分程度に短縮。

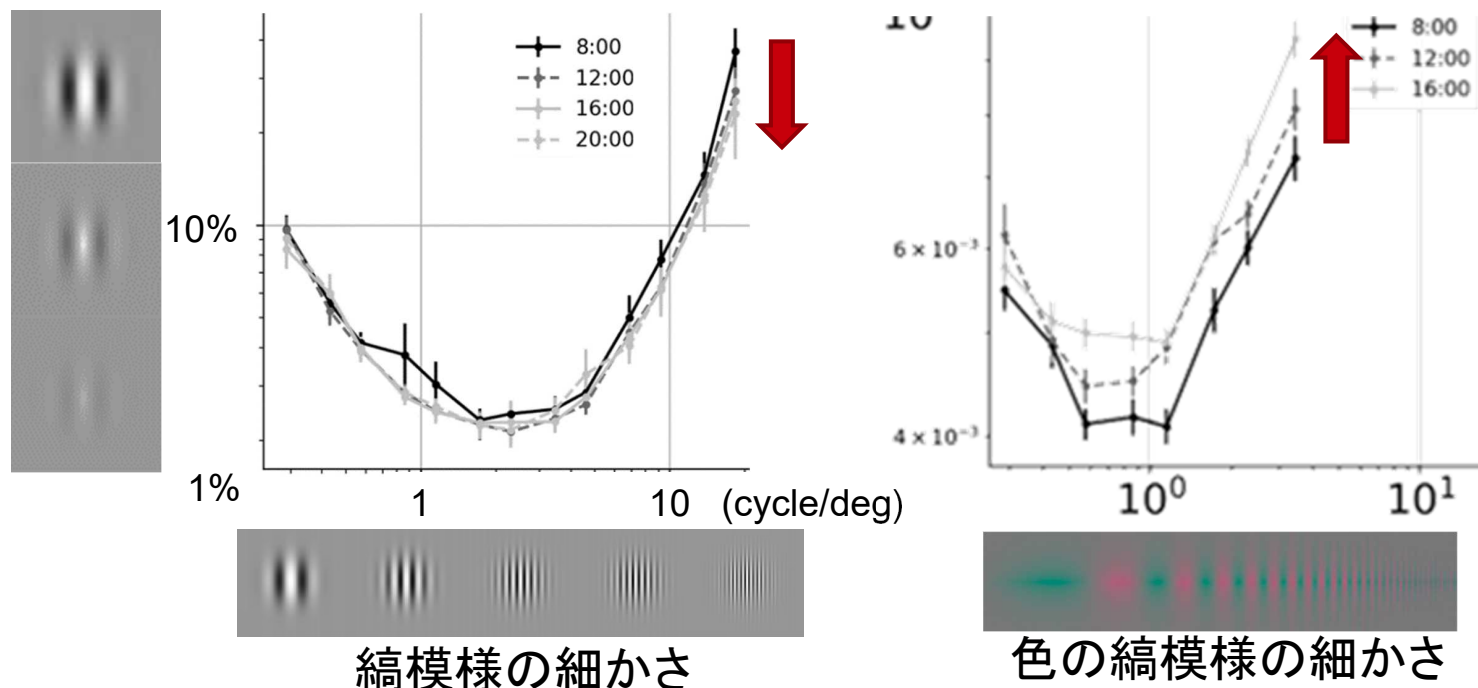




結果 | コントラスト感度は改善



結果 | 色の感度は下がる



まとめと意義

視力の時刻の効果調べたら...

- 感度が低下＝疲労（普通）
感度が上昇＝積極的な機能 * 新発見
- 眼や脳に視力を良くする仕組みがある
- その仕組みが失われると夜に視力が悪化する。
視力を保つために必要なリハビリ方法の開発や、
創薬開発などにつながる事が期待されます。

謝辞

＜研究助成＞

- 科研費（JP20K12022, JP20H00614, JP21H05820）
- 豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト（2019, 2020）

＜書誌情報＞

「概日リズムによる輝度コントラスト感度特性の変化」

吉川真由、永井翠、鯉田孝和, 生体医工学 60(6):158-163, 2022

DOI:10.11239/jsmbe.60.158





2023年3月7日

国立大学法人豊橋技術科学大学 キャンパスマスタープラン2022を策定

<概要>

本学では、教育研究活動の基盤となるキャンパス環境の質の向上を図るため、長期的視点に立った計画的な整備を行うことを目的として、キャンパス全体の基本的な計画である「キャンパスマスタープラン」を定めています。

この度、2016年度に発行したキャンパスマスタープランを改定し、「キャンパスマスタープラン2022」を策定しました。詳細について、理事・副学長 若原昭浩（経営、将来構想・中期目標、高専連携、研究担当）から、会見にて発表します。

<詳細>

■キャンパスマスタープラン2022（2023年1月27日発行）

<https://www.tut.ac.jp/about/overview/charter/campus-master-plan.html>

「キャンパスマスタープラン2022」は、「1. キャンパスマスタープランの目的」「2. キャンパスの建物経過と現状・課題」「3. キャンパスマスタープランの基本目標及び基本方針とデザインポリシー」「4. 個別計画」「5. キャンパスマスタープランの運用計画」「6. 既存施設の有効活用」「7. 資料編」の7編から構成されます。

◆「キャンパスマスタープラン2022」1-2-1 から抜粋

キャンパスマスタープランの必要性

大学キャンパスは、世界で一流の優れた人材の育成や創造的・先端的な学術研究を推進するための拠点であり、生涯学習や産学連携など地域貢献の実践の場である。また、国立大学法人は、国民から負託された資産であるキャンパスを最大限に活用し、教育研究の質の向上を図り、教育研究の成果を経済的価値や社会的・公共的価値の創出につなげていくことが求められている。

このようなキャンパスを実現するためには、敷地の有効活用の視点を欠いた整備や利用者の視点を欠いた周辺と調和の取れていないキャンパス環境の形成など、場当たりの整備を行うのではなく、キャンパス全体の整備・活用を図るキャンパスマスタープランを策定し、長期的視点に立った計画的な整備を行うことが重要である。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課企画・広報係 高柳・岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509



国立大学法人豊橋技術科学大学 キャンパスマスタープラン2022を策定



国立大学法人
豊橋技術科学大学



キャンパスマスタープランの目的

※1-1 はじめに より抜粋

「開学45年が経過し、大学を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、大学がそのミッションを遂行するためには、情勢を的確に把握し、変化に適切に対応していく必要があります。本学がこれから迎える50周年、そして100周年に向けて、社会の変革に対応できるサステナブルな大学を構築していくには、開学当時の構想を基本理念としたうえで、本学の強みや特徴をさらに強化する事はもちろん、新しい事に挑戦していく改革によりイノベーションを起こしていくことが不可欠となります。」

「多様な経験や文化的背景、性別、国籍、能力をもつ学生が、共に学び合い、学生の創意・発意に基づく学生活動や、活力に富んだ充実した学生生活をおくれるキャンパスはもとより、地域・産業界に開かれた活気あふれるキャンパス、さらには社会的要請でもあるSDGs実現のためカーボンニュートラルを考慮したキャンパスづくりが必須となっています。」

「このキャンパスマスタープラン2022は、そのような状況を踏まえ、本学が目指すべきキャンパスの将来像を描くものであり、今後の施設整備をさらに良い形で推進するため、必要な事項についてまとめたものであります。」

国立大学法人
豊橋技術科学大学

1-2-1 キャンパスマスタープランの必要性

大学キャンパスは、世界で一流の優れた人材の育成や創造的・先端的な学術研究を推進するための拠点であり、生涯学習や産学連携など地域貢献の実践の場である。また、国立大学法人は、国民から負託された資産であるキャンパスを最大限に活用し、教育研究の質の向上を図り、教育研究の成果を経済的価値や社会的・公共的価値の創出につなげていくことが求められている。

このようなキャンパスを実現するためには、敷地の有効活用の視点を欠いた整備や利用者の視点を欠いた周辺と調和の取れていないキャンパス環境の形成など、場当たりの整備を行うのではなく、キャンパス全体の整備・活用を図るキャンパスマスタープランを策定し、長期的視点に立った計画的な整備を行うことが重要である。

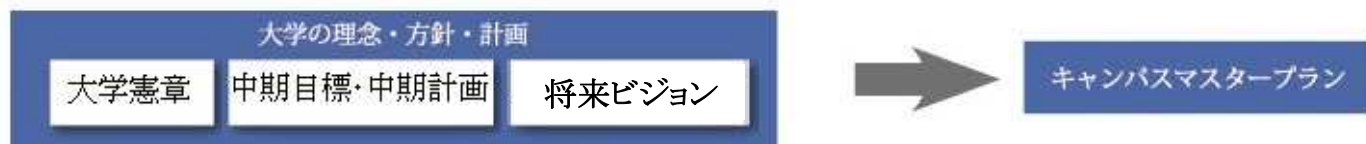
1-2-2 キャンパスマスタープランの役割

キャンパスマスタープランには、

- ①学長のリーダーシップによる大学の戦略構想などの実現を、物理的環境や施設の側面から支援していくこと、
- ②キャンパス整備への投資に対して、必要性・緊急性などをわかりやすく関係者等へ提示すること、
- ③施設整備の計画と整合の取れた中長期的な修繕計画を立案・実施することなどが、役割として考えられる。

1-2-3 キャンパスマスタープランの位置付け

キャンパスマスタープランは、大学憲章や中期目標・中期計画、将来ビジョンなどの大学の理念・方針・計画に基づき、策定される。



キャンパスマスタープラン目次

1. キャンパスマスタープランの目的

- 1-1 はじめに、 1-2 キャンパスマスタープランとは、 1-2-1 キャンパスマスタープランの必要性
- 1-2-2 キャンパスマスタープランの役割、 1-2-3 キャンパスマスタープランの位置付け

2. キャンパスの建物経過と現状・課題

- 2-1 沿革、2-2 キャンパスの建物経過、2-2-1 開学当初時点(1976～1978)、
- 2-2-2 開学10周年時点(1979～1986)、2-2-3 開学20周年時点(1987～1996)、
- 2-2-4 開学30周年時点(1997～2006)、2-2-5 現在(2007～2022)、
- 2-2-6 建物経過からみる大学配置の経過と課題、2-3 現状・課題、
- 2-3-1 キャンパスと周辺地域との立地関係、2-3-2 建物配置、2-3-3 自然環境、
- 2-3-4 交通・動線、2-3-5 パブリック空間、2-3-6 景観イメージ、
- 2-3-7 シンボルおよびシンボリック空間、2-3-8 パブリック空間の利用状況、
- 2-3-9 建物・設備更新、2-3-10 施設の老朽化・耐震化、2-3-11 エネルギー使用量、
- 2-3-12 現状と課題一覧、2-4 景観イメージに関するアンケート調査、2-4-1 景観イメージ調査、
- 2-4-2 景観イメージ、2-4-3 憩いの場・緑地空間、2-4-4 シンボリック施設、将来的に必要な施設、
- 2-5 今日の社会的要請、2-5-1 災害レジリエンス、2-5-2 イノベーション・コモンズ、
- 2-5-3 カーボンニュートラルに向けた取組

3. キャンパスマスタープランの基本目標及び基本方針とデザインポリシー

3-1 上位計画、3-2 キャンパスマスタープランの基本目標と基本方針、3-3 デザインポリシー

4. 個別計画

4-1 デザインポリシーと個別計画、4-2 ゾーニング計画、4-2-1 キャンパスの骨格軸、
4-2-2 建物用途、4-3 緑地保全計画、4-3-1 緑地保全区域、4-3-2 開発可能エリア、
4-4 動線計画、4-4-1 歩行者・自動車動線、4-4-2 駐車・駐車場・バス停の整備、
4-5 建物配置計画、4-5-1 イノベーション・commonsの推進、4-5-2 戦略的新施設の配置、
4-6 パブリックスペース計画、4-6-1 交流スペース・アプローチ計画、
4-6-2 包摂的生活環境の創出、4-6-3 外部空間におけるストリートファニチャー整備、
4-7 景観計画、4-7-1 スカイラインを考慮した建物高さコントロールの考え方と視点場の設置、
4-7-2 建築デザインの考え方(色彩・屋根形状)、
4-7-3 グリーンベルトによるグリーンインフラの推進、4-8 インフラストラクチャー計画、
4-9 サイン計画

5. キャンパスマスタープランの運用計画

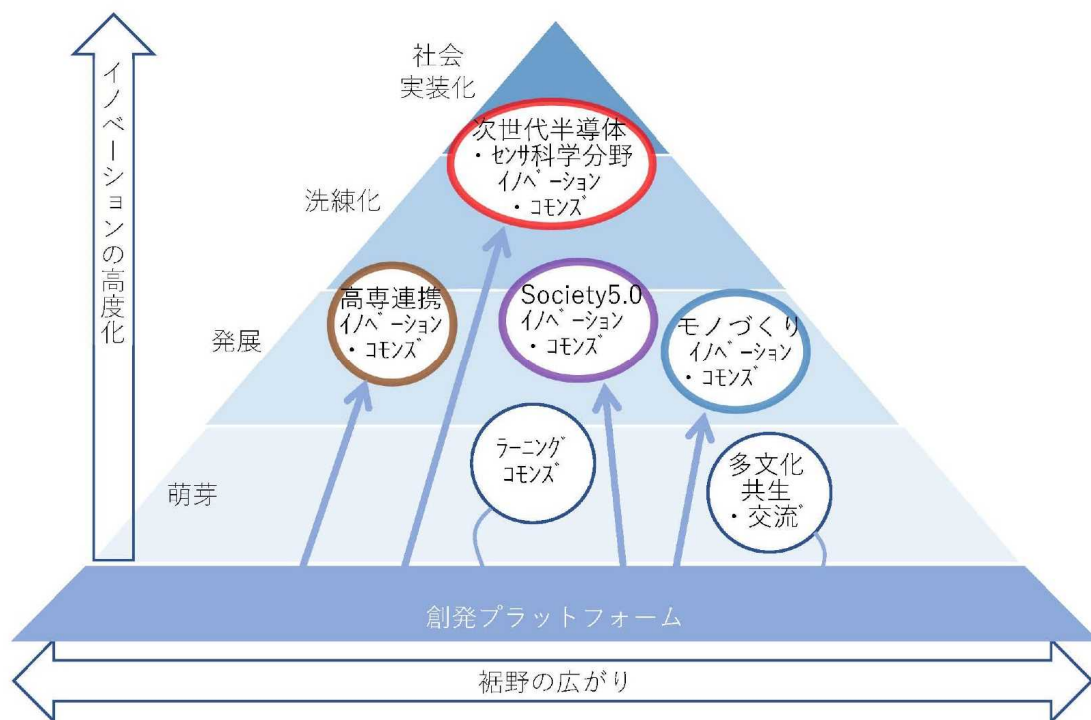
5-1 組織図、5-2 サステイナブルキャンパス実現に向けた環境計画、
5-2-1 長期修繕計画、5-3 多文化、多様性に配慮した環境づくり、
5-3-1 バリアフリーに関する計画、5-3-2 ダイバーシティに関する計画、
5-3-3 職員宿舍、5-4 防災・安全に配慮した環境づくり、5-4-1 防災計画

6. 既存施設の有効活用

6-1 施設マネジメントの一元管理と課金制度、6-2 共同利用スペースの確保について

7. 資料編

7-1. 景観イメージに関するアンケート調査、7-1-1 景観イメージに関するアンケート調査(分析)、
7-1-2. 景観イメージに関するアンケート調査(自由記述一覧)、
7-2. 豊橋技術科学大学デザインマニュアル、7-2-1 デザインマニュアルについて
7-2-2 デザインガイドライン、7-2-3 デザイン・コード、
7-3 豊橋技術科学大学バリアフリーガイドライン、7-3-1 はじめに、
7-3-2 バリアフリー化の優先順位、7-3-3 バリアフリー化の方針、7-3-4 参考資料



マルチレイア型イノベーション・コモンズ

国立大学法人
豊橋技術科学大学

イノベーション・コモンズ(イメージ図)

豊橋技術科学大学イノベーション・コモンズ

目的：高専連携と産学共創による最先端イノベーション創出
ステークホルダー：高専生、高専教員、大学、企業



国立大学法人
豊橋技術科学大学



2023年3月7日

ギカダイキャンパスツアー2022 を開催します

<概要>

高専生・高校生とその保護者を対象として、キャンパスツアーを開催します。開催する日程のうち、3月17日（金）について、当日の取材をお受けいたします。

<取材対応詳細>

日 付	時 間	事 項
3月17日（金）	13:30 ～ 13:50	大学概要説明（高専生向け・高校生向け）
		ギカダイ生 自己紹介
	14:00 ～ 14:20	キャンパス散策（図書館・福利施設等）
	14:20 ～ 15:10	研究室見学
	15:20 ～ 15:40	ギカダイ生への質問タイム
	15:50 ～	アンケート記入 解散

※取材を希望する場合は、13:20 に事務局玄関前までお越しください。

<キャンパスツアーについて>

全国の高専生・高校生とその保護者を対象に、実際に行ってみないと体感できない、大学の雰囲気や大学生の様子などを公開することを目的として開催しています。



広報・取材に関する連絡先

広報担当：総務課企画・広報係 高柳・岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509



2023年3月7日

天伯小学校で〈弱いロボット〉の岡田教授が講演！

～ 〈弱いロボット〉だからできること～

<概要>

3月13日（月）、情報・知能工学系教授 岡田美智男による、天伯小学校5年生に向けた講演を行います。

【日 時】3月13日（月）14:00～15:40

【場 所】豊橋市立天伯小学校（2階 音楽室）

【講演者】情報・知能工学系教授 岡田美智男

【題 目】〈弱いロボット〉だからできること

【内 容】5限 14:00～14:45 講演

6限 14:55～15:40 生徒からの質問、ロボットとのふれあい

<詳細>

2020年度、新たに改訂された小学校5年生国語科用 文部科学省検定教科書『新しい国語 五』の教材文として、本学 岡田美智男教授らの〈弱いロボット〉を題材とした説明文『「弱いロボット」だからできること』が掲載されています。今回はこの内容に基づいた講演です。

教科書：小学校5年生国語科用 文部科学省検定教科書『新しい国語 五』

発行者：東京書籍株式会社

掲載文章：岡田美智男 文、「弱いロボット」だからできること

使用期間：2020年度から2023年度までの4年間

<講演当日の取材について>

講演当日の取材について対応可能です。報道機関の方々につきましては、ぜひ取材にお越しください。



広報に関する連絡先

広報担当：総務課企画・広報係 高柳・岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

取材に関する連絡先

豊橋市立天伯小学校

TEL：0532-45-6165 FAX：44-1376

東海地域の 6次産業化推進人材育成

受講生募集 **募集期間** 2023. **4.10**月▶ 2023. **5.19**金

- ・ 6次産業化ビジネスの“あるべき姿”を設計する
- ・ サプライチェーンを統合して、最適システムを設計する
- ・ ニーズ起点の戦略商品を設計する

日 程 2023年**9**月～2024年**1**月

会 場 豊橋技術科学大学・各視察先 他
※オンライン講義の場合もあり

募集人員 **10名**

受講料 **80,000円**

対 象 者 農林水産業者、農林水産業の6次産業化に関心を持つ方

応募資格 高等学校卒業程度の学力を有し、e-ラーニングを受講可能な方

割引制度あり〔割引後受講料〕

- ①豊橋市、田原市在住・在勤者 30,000 円
- ②協賛自治体・企業推薦者 30,000 円
- ③農林水産業従事者等 50,000 円

※詳細は募集要項参照

※プログラムや日程、講義方法を変更、あるいは実施を中止する場合があります
※先進事例調査研修（視察）等で実費個人負担がある場合があります



先端農業・バイオリサーチセンターWebサイト

<http://www.recab.tut.ac.jp>

※QRコードは受講生募集案内ページにつながります

<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/6sangyo/entry.html>

左記、Webサイトより募集要項を必読の上、
志願書をダウンロードし、郵送にてお送りください。



国家戦略プロフェッショナル検定
「食の6次産業化プロデューサー」
キャリア段位申請可能



先端農業・バイオリサーチセンターは持続可能な開発目的（SDGs）を支援しています。

東海地域の 6 次産業化推進人材育成

【教室講義】

カリキュラム名	日程	講師	所属・役職
開講式・オリエンテーション	2023年9月2日(土)	山内 高弘	豊橋技術科学大学特任准教授
基本理念(ビジョン)の共有		長谷川 潤一	一般社団法人食農共創プロデューサーズ代表理事
「食の6次産業化プロデューサー」について			
ファシリテーション			
6次産業化推進のポイントについて	2023年9月9日(土)	藤井 吉隆	愛知大学地域政策学部教授
マーケティングと経営戦略	2023年9月23日(土)	日野 眞明	MORE経営コンサルティング(株)代表取締役
ビジネスプランの作成 I	2023年9月30日(土)	山村 友宏	(有)F. T. Y. 取締役
農業における制度会計(財務会計・税務会計)と管理会計	2023年10月7日(土)	安形 京子	税理士法人Agata代表社員
農産物の加工における品質管理(HACCP概要)	2023年10月14日(土)	功刀 由紀子	愛知大学地域政策学部名誉教授
農産物の品質管理(GAP概要)		山本 新也	豊橋市保健所生活衛生課専門員
		山本 英治	イノチオアグリ(株)
食品加工論	2023年10月21日(土)	中西 勘二	
行政機関における6次産業化の支援施策と支援機関	2023年10月28日(土)	小池 克幸	東海農政局経営・事業支援部地域食品・連携課連携企画係長
6次産業化における事業構想のポイント		西郷 鎮廣	豊橋信用金庫事業支援部次長
農業制度資金の活用と経営支援の仕組み		河本 浩	日本政策金融公庫名古屋支店
		細矢 真義	日本プロ農業総合支援機構
ビジネスプランの作成 II	2023年11月3日(金)	山村 友宏	(有)F. T. Y. 取締役
ビジネスプランの発表	2023年11月25日(土)	山村 友宏	(有)F. T. Y. 取締役
		藤井 吉隆	愛知大学地域政策学部教授
		横山 順子	地域文化創造研究所所長
		原田 愛子	(株)石巻柿工房代表取締役

【e-ラーニング・必須科目】

カリキュラム名	講師	所属・役職
6次産業化実践論(中間・最終)	加藤 寛昭	食と農研究所代表
商品・サービス・価値形成の考え方・手法1・2	天野 良英	(有)NEWビジネス研究所所長

【e-ラーニング・参考科目】

6次産業化概論	農林水産業の政策動向	ビジネスプラン作成
地域内外でのチームの作り方(概論)	6次産業ビジネスの展開 医療介護参入事例	地域活性化に向けた再生可能エネルギー事業構想の描き方
【事例】企業・地域を経営するとは1(伊豆沼農産事例)	【事例】企業・地域を経営するとは2(ファーマーズフォレスト事例)	【事例】地域内外でのチームの作り方2(和郷園事例)
「日本の食文化と健康」に学ぶ、地域ビジネス創出のスキル	地理的表示保護制度(知的財産で農業成長へ)	財務・会計・資金調達(1) 資金調達と事業主体
財務・会計・資金調達(2) 収支計画の立案とPDCA	農業大国フランスの農産物ブランド戦略-原産地統制呼称(AOC)の歴史と効果-	食品の機能性-科学的に考える新たな商品価値-
【事例】地域の新産業はどうすれば生み出されるか(リバネス事例)	損得学1	損得学2
総合化事業計画作成における申請書記載のコツ	事業開始前のマーケティング	商品化後のマーケティングと実例
財務会計 I	財務会計 II	ファシリテーション

【その他】

1. 開講式は2023年9月2日(土)、修了式は2024年1月12日(金)を予定しています。
2. 先進事例調査研修は、2023年9月16日(土)を予定しています。

※日程や先進事例調査研修先は、講師または会場の都合により一部日程が変更になる場合があります。

【申込・問合せ先】

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 技術科学イノベーション研究機構 先端農業・バイオリサーチセンター

6次産業化推進人材育成担当係 宛

TEL 0532-44-6655 E-mail 6jisangyo@recab.tut.ac.jp

令和5年（2023年）度 定例記者会見開催日程

第1回	4月20日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第2回	6月22日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第3回	8月10日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第4回	9月14日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第5回	10月26日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第6回	12月14日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第7回	1月18日（木）	10：00～	事務局3階大会議室
第8回	2月22日（木）	10：00～	事務局3階大会議室

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、オンラインにて開催することがあります。
定例以外に臨時で会見を行う場合があります。

以 上